

令和 8 年度 第 1 回デジタル地域通貨利用促進委員会会議録

1. 開催日時
令和 8 年 6 月 23 日（火）10 時 00 分～11 時 15 分
2. 開催場所
名取市役所 西棟 1 階会議室
3. 出席者
宮崎委員長、小松副委員長、佐藤徹也委員、佐藤司委員、赤間委員、渡部委員、松野委員、熊谷委員
4. 欠席者
千葉委員
5. 出席者（委員長要請による出席者）
名取市商工会：高橋主査
名取市 商工観光課：守課長、鈴木補佐、越河係長 伊藤主査
デジタル政策課：阿部課長、板橋補佐、佐々木係長、岩野主事
政策企画課：針生課長
（株）NTT カードソリューション：川原崎課長
NTT 東日本（株）宮城支店：谷平、原田（リモート）
6. 事務局より
 - ・傍聴者の報告及び会議の記録方法の確認
 - ・本委員会は公開対象とし、本日の傍聴者は 0 名。
7. 宮崎委員長あいさつ
 - ・今年度 1 回目であるが、任期としては今回が最後。組織変更でメンバーもかなり変わっている。物価高騰対策で、なとりコインの利用額もかなり動いている。その状況を確認しながら利用促進の意見をいただきたい。
8. 資料
 - （1） なとりコインの利用実績について … 【資料 1】
 - （2） 物価高騰対策支援事業の結果について … 【資料 2】
 - （3） 利用促進キャンペーンの実施について … 【資料 3】
 - （4） なとりコインのネイティブアプリ化について … 【資料 4】
9. 議事内容の要旨
 - （1） 役員の選任
小平副委員長の退任に伴い、新副委員長に小松生活経済部長を全会一致で選任・承認。
 - （2） なとりコインの利用実績について
現状と伸び：登録者数は 21,453 名（5/31 時点）となり、令和 6 年度末（3,610 名）から大幅増。特に本年 2 月以降の「物価高騰対策支援事業」が登録急増を牽引した。
利用層：ユーザーは 30～50 代の中年層・主婦層が中心。人口比に対して若年層および高齢層（スマホ利用）の割合が低いため、ターゲットに応じた周知・施策が課題。

決済・チャージ額：給付事業を含めた総決済額は約 6.56 億円に達し、チャージ額（約 1,340 万円）や域外ユーザーの利用（約 7%）も一定程度確保されている。

(3) 物価高騰対策支援事業の結果について

事業成果：実配布 32,435 世帯（配布率 93.8%）、利用率は 95%（最終決済ベースで約 95.8%・未消化率約 4.2%）となり、約 3 億円超が市内に流通し市民生活の下支えを達成。

スマホ・カード割合：利用割合はスマホ 48%、カード 52%。70 代以上のスマホ決済額も 1,000 万円を超え、デジタルデバйд解消にも貢献した。

今後の課題：カード型ユーザーのスマホ移行促進、事務コスト（カード発行・在庫管理等）の抑制、スマホとカードの併用運用の検討。

(4) 利用促進キャンペーン（2 周年記念・アプリリリース記念）の実施について

概要：期間は令和 8 年 8 月 1 日～9 月 30 日。ネイティブアプリの先行リリース（7 月）および 8 月中旬の非課税世帯給付事業に合わせて前倒し実施。

参加条件・賞品：スマホでの累計 5,000 円決済ごとに 1 口自動応募（抽選で総額 60 万円・605 口）。決済をトリガーとすることで加盟店への経済波及を狙う。

目的：アプリへの移行・定着化、および 12 月に予定している 10%還元キャンペーンにおける「1 人あたり還元上限額」の検証・設定。

(5) なとりコインのネイティブアプリ化について

機能改善：常時ログイン維持、プッシュ通知、GPS 加盟店検索を搭載し、令和 8 年 7 月 1 日にリリース。

運用面：従来 Web ブラウザ版との併用は継続するが、混乱防止のため、丁寧な広報およびデジタル政策課での相談対応を行っていく。

アンケート実施：ネイティブアプリ化に対する評価や意見を聞くため、利用者・加盟店向けアンケートを実施予定。

(6) その他

給付事業の状況：子育て世帯支援（子ども 1 人 3,000 円）は 7 月末まで利用可能。非課税世帯支援（5,000 円）は 8 月中旬より順次開始。

次回委員会：令和 8 年 10 月 27 日（火）10:00～（名取市役所 西棟 1 階会議室）

10. 閉 会